

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教育実習事前・事後指導(幼)	演習	1	園田 雪恵・藤本 明美・田中 麻紀子

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

この授業は教育実習の目的の達成をより確かなものにするために行うものである。幼稚園教育実習の事前と事後に行う授業を受講することにより、これまで学んできた理論を実践に生かすことができるようにする。各自の課題を確認し、教育力の向上を目指す。実習終了後は学生自身の振り返りと、実習先の評価から幼稚園教諭として現場に赴くための課題を展望する。

- ・幼稚園における幼稚園教諭の役割を理解し、説明できる。
- ・子どもの年齢の応じた指導案を立案することができる。
- ・立案した指導案を責任実習や部分保育で実際に保育することができる。
- ・反省点を生かし、今後に応用することができる。

【授業の概要】

事前指導の内容は、観察実習および責任実習に必要な学修をしていく。まず、観察実習・責任実習の流れを把握し、設定保育における指導案立案について学ぶ。観察実習では子どものとのかかわりから子ども理解の視点に立ち、幼稚園教諭の保育を観察する。責任実習では指導案を立案し、保育実践を行う。事前指導の中で、十分な成果を修められるよう、幼稚園実習の準備をしていく。事後指導の内容は、幼稚園実習終了後に実習で学んだことを振り返る。また、後期には個人面談を行い、今後の学修課題を検討する。

【全体の授業計画・内容】

1. 幼稚園教育実習についての意義・目的・内容の理解

事前学修課題: テキストを読み、今回の授業に関係する部分を調べる。【0. 5時間】

事後学修課題: 授業内容をもう一度確認し、内容を理解する。【0. 5時間】

2. 幼稚園教育実習の流れと事務手続き

事前学修課題: 幼稚園実習について調べる。【0. 5時間】

事後学修課題: 事務手続きに必要な書類を準備する。【0. 5時間】

3. 幼稚園実習の心構え(守秘義務と実習のマナー)

事前学修課題: 幼稚園実習について理解する。【0. 5時間】

事後学修課題: 実習の心構えを再度確認する。【0. 5時間】

4. 実習課題の明確化

事前学修課題: 実習課題を自分なりに考えておく。【0. 5時間】

事後学修課題: 実習課題を明確にする。【0. 5時間】

5. 指導案立案から模擬保育への展開

事前学修課題: 指導案立案について調べておく。【0. 5時間】

事後学修課題: 指導案を作成してみる。【0. 5時間】

6. 各自で作成した指導案と保育実践(3歳児)

事前学修課題: 3歳児に対しどのような保育を行いたいかを考え、指導案をたてる準備をする。【1. 0時間】

事後学修課題: 立案した指導案の見直しを行い、より良いものにする。【1. 0時間】

7. 各自で作成した指導案と保育実践(4歳児)

<p>事前学修課題: 4歳児に対しどのような保育を行いたいかを考え、指導案をたてる準備をする。【1. 0時間】</p> <p>事後学修課題: 立案した指導案の見直しを行い、より良いものにする。【1. 0時間】</p>
<p>8. 各自で作成した指導案と保育実践(5歳児)</p> <p>事前学修課題: 5歳児に対しどのような保育を行いたいかを考え、指導案をたてる準備をする。【1. 0時間】</p> <p>事後学修課題: 立案した指導案の見直しを行い、より良いものにする。【1. 0時間】</p>
<p>9. ①幼稚園教育実習に必要な各種書類の準備や実習にむけての手続きの説明</p> <p>②実習園とのオリエンテーションについての説明</p> <p>事前学修課題: オリエンテーションにむけて自分なりに準備を行う。【0. 5時間】</p> <p>事後学修課題: 幼稚園教育実習・オリエンテーションに必要なものを確認し、洩れのないようにする。【0. 5時間】</p>
<p>10. 実習園へのお礼状の作成</p> <p>事前学修課題: お礼状の作成に必要なものを準備する。【0. 5時間】</p> <p>事後学修課題: 授業内に終わらなかったことを済ませ、お礼状を郵送する。【0. 5時間】</p>
<p>11. 幼稚園教育実習の振り返りレポート作成(自己評価・反省)</p> <p>事前学修課題: 幼稚園教育実習において、自分なりに良かった点、反省点を振り返る。【0. 5時間】</p> <p>事後学修課題: 反省点を今後にかせるようにするためには、どうすれば良いのかを考える。【0. 5時間】</p>
<p>12. 幼稚園教育実習の振り返りレポート作成(実習園報告書)</p> <p>事前学修課題: 幼稚園教育実習において、自分なりに良かった点、反省点を振り返る。【0. 5時間】</p> <p>事後学修課題: 反省点を今後にかせるようにするためには、どうすれば良いのかを考える。【0. 5時間】</p>
<p>13. 幼稚園教育実習の振り返りレポート作成に基づいた報告会</p> <p>事前学修課題: 幼稚園教育実習において、自分なりに良かった点、反省点を振り返る。【0. 5時間】</p> <p>事後学修課題: 反省点を今後にかせるようにするためには、どうすれば良いのかを考える。【0. 5時間】</p>
<p>14. 幼稚園教育実習の実習園からの成績評価をふまえた面談</p> <p>事前学修課題: 幼稚園教育実習において、自分なりに良かった点、反省点を振り返る。【0. 5時間】</p> <p>事後学修課題: 反省点を今後にかせるようにするためには、どうすれば良いのかを考える。【0. 5時間】</p>
<p>15. 幼稚園教育実習の総括・評価・今後の学修課題の検討</p> <p>事前学修課題: 幼稚園教育実習を終えて、今後にかせることを考える。【0. 5時間】</p> <p>事後学修課題: 保育者を目指すにあたり、幼稚園教育実習を通して自分の課題に向き合う。【0. 5時間】</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>本授業を実習と同じと捉え、欠席は認めない。積極的に学ぶ姿勢で臨むこと。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>提出物(50%)、ワーク(50%)により総合的に評価する。</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>提出物・ワークの課題や教育実習(幼)の実習評価表から、幼稚園教諭を志すものとしての自身の課題に向き合う。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>大元千種(監修)『書き方・あそび・保育のコツがわかる 実習の日誌と指導案サポートブック』ナツメ社</p>
<p>【参考文献】</p> <p>文部科学省「幼稚園教育要領」フレーベル館</p>
<p>【実務経験の有無】</p> <p>幼稚園教諭としての現場経験を生かし、有意義な実習を行えるような授業を展開していく。</p>